

2025 年度（令和 7）年度
企業情報学部 総合型選抜説明資料

2024 年 7 月
企業情報学部入試委員会

はじめに

公立大学である長野大学が実施する入学試験の種類には、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜（前期・公立大学中期）、帰国生徒特別入試、社会人シニア特別入試、外国人留学生入試などがあります。それぞれの入試の内容については「入学者選抜要項」に詳しく説明が載っていますので、そちらを事前によく読んでおいてください。

また、2024（令和 6）年度入試と 2025（令和 7）年度入試の違いの一覧が「入学者選抜要項」4 ページに記載されています。合わせてご確認ください。

■入試全般にかかわることについて

企業情報学部のアドミッションポリシー

アドミッションポリシーとは、簡単に言えば、大学や学部が求める学生像のことです。「入学者選抜要項」の 2 ページには企業情報学部のアドミッションポリシーが載っています。そこに書かれているように、企業情報学部は「現代の社会や企業において生まれるさまざまな問題に取り組み、解決するために要求される能力を身に付けた魅力的な職業人になりたいと思う人」を求めています。その他、企業情報学部の学生に求められる素養や能力について書かれていますので、しっかり読んで理解しておいてください。

なお、総合型選抜や学校推薦型選抜などの入試区分別のアドミッションポリシーも各入試の説明ページの最初に載っていますので、自分が受験したいと考えている入試形式のアドミッションポリシーにも目を通しておいてください。

また、企業情報学部がどのような学部で、どのようなことが学べるかという基本的な情報も大学のパンフレットやホームページで事前に十分に調べておいてください。

■総合型選抜

1. 総合型選抜の特徴と大まかな手順

(1) 総合型選抜とは

総合型選抜とは、学力試験などの入試とは別に、大学や学部のアドミッションポリシーに適合する志願者を、独自の選考方法で選抜する入試のことです。企業情報学部の総合型選抜は専願です。「入学者選抜要項」6 ページに記載されている総合型選抜のアドミッションポリシーをよく読んでください。総合型選抜では、学部の「専門分野を学ぶ強い意欲」を持ち、「入学前学習に取り組む」ことが重要です。そして、「文化・学術活動や地域社会活動、スポーツ活動などについて実績」がある人を求めています。アドミッションポリシーの下に分野別の「求める具体的な学生像」が書かれていますので、こちらも目を通しておいてください。

(2) 総合型選抜の定員

企業情報学部の総合型選抜の募集定員は 15 名です。募集定員には、地域特別枠（定住）5 名

が含まれています。試験日程・試験会場・地域特別枠（定住）に該当するかどうかは、「入学者選抜要項」や「学生募集要項」で確認してください。

（3）選抜方法

総合型選抜は1次選考と2次選考の2段階選抜方式で実施します。

1次選考は小論文試験であり、その判定は小論文試験の評価点と「業績点」の加点を合わせた総合評価で行います。1次選考において「学習・活動計画書」自体に評価点はつけません。しかしながら、「学習・活動計画書」の内容は、2次選考における合否判定を大きく左右しますので十分な時間をかけて作成してください。詳細は下記「2. 学習・活動計画書」をご確認ください。

2次選考では、1次選考の合格者に対して、提出書類の「学習・活動計画書」に基づいて面接試験を行います。面接時間は30分です。詳細は下記「3. 面接試験および合格判定について」をご確認ください。

（4）入学前学習

総合型選抜は合格発表で終わるものではありません。合格者には入学前学習が課されます。その入学前学習の成果として、それぞれ自分で選んだテーマに基づく課題レポートを提出していただきます。「合格後に入学前学習に取り組む」ところが、他の入試方式と違う総合型選抜のユニークな特徴です。詳細は下記「4. 合格後の入学前学習について」をご確認ください。

2. 学習・活動計画書について

（1）総合型選抜における学習・活動計画書の重要性

学習・活動計画書は、他の入試形態にはない総合型選抜独自のものです。面接試験ではこの計画書に基づいて質問しますので、この出来ばえが総合型選抜での合否を大きく左右します。当然のことながら、誰かに代筆してもらったり、ネット等から書き写したりせず、本人が自分の言葉で書かなくてはなりません。記入する際には、まず下書きを作り何度も見直し、十分に推敲（すいこう）してから清書することをお勧めします。

（2）用紙の入手方法

学習・活動計画書の用紙は、大学のホームページからダウンロードすることができます（*参照）。記入は手書きでもワープロでもかまいません。

マス目のあるこの用紙に手書きするか、あるいはこの用紙と同じ一行字数と行数に書式設定した上で、ワードなどに打ち込んでプリントアウトしても構いません。手書きの場合には、先に別の紙で下書きしてから用紙に清書することをお勧めします。

*大学公式サイトHP →入試情報 →2025（令和7）年度入試（総合型選抜・学校推薦型選抜） →総合型選抜 →企業情報学部 総合型選抜 学習・活動計画書

（3）各項目の字数と記入内容

以下に「Ⅰ志願書」「Ⅱ入学までの学習・活動計画書」の各項目の目安となる字数、記入すべき内容の例を示しますので、参考にしてください。

①志望理由(300字以内)

「志望理由」欄には、本学の企業情報学部で学びたいと思った理由を書いてください。企業情報学部の特色や学びを理解しており、自分が学びたいこと、関心のある事柄がそれと合致していることを説明すると良いでしょう。さらに、情報・経営・デザインの中で主に学びたい分野や、本学から発信される情報で関心を持ったこと等について記入してください。本学 HP 等に掲載されている内容をなぞるだけではなく、自分の言葉で本学企業情報学部で学びたいことが表現されているとなお良いでしょう。

②将来の目標(200字以内)

「将来の目標」欄には、長野大学在学中に身に付けたい能力や知識、将来就きたい職業、在学中に取得したい資格、なりたい自分の将来像などをできるだけ具体的に記述してください。

③自己PR(200字以内)

「自己PR」欄には、高校で力を入れて実践してきたこと等、勉学や課外活動、文化活動の賞の受賞やスポーツでの各種大会等の実績を記入し、これまで自分が得意としたことや関心のある事柄をできるだけ具体的に記述してください。できれば、今後の企業情報学部の学びにつながるような自己アピールが望ましいです。

④「テーマ」(15文字～30文字程度)

「テーマ」には、長野大学での学びを見据えて入学までに行おうとしている学習・活動の概要がそれだけでもわかるよう簡潔な題名を表記してください。合格した場合、ここで立てるテーマに即して入学前学習に臨んでもらうことになります。以下の例を参考にしてください。

<テーマ例>

(情報に関するもの)「デジタルコモンズを利用した地域活性化と企業経営」「多くの人が楽しめるゲームの特徴」

(経営に関するもの)「インターネットを活用した地元企業の業務改善と地域の有機的発展について」「中小企業における企業会計のDX」

(デザインに関するもの)「伝統文化の継承と地域の発展を担うデザインの役割」「地域の活性化と色の関わり」

⑤「上記のテーマを選んだ理由」(100字以内)

「上記のテーマを選んだ理由」には、テーマに関わる問題意識とそこに思い至った経緯、あるいは、そのテーマについて学習することの効果や将来につながる内容などを書いてください。

⑥上記のテーマに沿って、これまで学習したり取り組んだこと、結果や成果(300文字以内)

ここには、これまで関連して学習したことや、社会貢献した成果等を書いてください。また上記のテーマに至った自分の小・中・高校生活、自然や地域との関わり、そこで育まれた考え方について説明していただいても構いません。

自分で調査したり、地域と連携した事業に参加して行った成果が公表されたり、新聞・雑誌等でとりあげられているようであれば、ここに明記するとともに、業績点にもなる可能性がありますので、出願書類として公表資料等を提出してください。

⑦「入学までの学習・活動計画」(400文字以内)

書く分量も多く、総合型選抜では最も重要な部分です。

④のテーマを踏まえて、研究や調査をしたいこととそのための方法、対象となる地域や環境、人物があるならその予定、文献を読むとしたら候補となる書籍名か専門分野(ジャンル)、などの学習構想を

語ってください。さらに、合格後入学までに、いつまでにどのような学習・活動をするのかについて、大まかなスケジュールを記入しておいてください。なお、スケジュールを立てる際には、下記の「4. 合格後の入学前学習について」の流れを踏まえて計画を立ててください。

3. 面接試験および合否判定について

(1) 面接時間と内容

面接時間は一人 30 分です。面接は、自己アピール(5分)→面接教員との質疑応答(25分)の順序で行います。

(2) 自己アピール

最初に自分が書いた「学習・活動計画書」に基づき、自己アピールを口頭で 5 分間行っていただきます。「学習・活動計画書」に書き切れなかったことも含めて、志望理由・入学後に学びたいことなどを自由にお話ください。その際、自身の体験や将来の目標などに即して、具体的なアピールをしていただくこととよいでしょう。

なお、「学習・活動計画書」のコピーは出願時の提出前に取っておいて、面接のときに持参してください。受験票等の必須書類を除いては、資料として持参できるのは「学習・活動計画書」のコピーのみとなります。「学習・活動計画書」のコピー以外の資料を持参いただいても、それを面接時に利用いただくことはできませんので、お気を付けください。

(3) 面接教員との質疑応答

面接では、提出された「学習・活動計画書」の内容に基づいて質問します。ご自身でも計画書を読み込み、補足が必要な点や疑問がつきそうな点などを整理したうえで、面接教員からの質問に的確に答えられるよう準備して臨んでください。

(4) 合否の判定は、小論文、面接、業績書を総合的に評価して決定します。

4. 合格後の入学前学習について

(1) 合格発表後、各合格者に対して入学前学習の担当教員が割り当てられます。その担当教員と相談しながら、学習・活動計画書のⅡに基づいて入学前学習プログラムを行います。入学前学習プログラムは以下の手順をとって行われます。

①まず、担当教員から出願時に提出された学習・活動計画書について、レポート作成に向けた助言のコメントを送付します(合格発表後)。

②担当教員の助言も参考にしつつレポート作成を進めていただき、「中間報告書」をご提出いただきます(2024年12月頃)。

③「中間報告書」に対して担当教員が改めて助言を含む「コメントと励まし」をお送りしますので、その内容を受けて継続してレポート作成に取り組んでいただき、「最終報告書」をご提出いただきます(2025年2月頃)。

④「最終報告書」に対して担当教員からの講評が届きます。これをもって入学前学習プログラムが完了となります。

(2) 入学前学習レポートを提出しなかった場合は入学許可を取り消されることもあります。入学前学習レポートは必ず提出してください。なお、入学前学習レポートが一定の水準に達していないと担当教員が判断した場合には再提出を求めることがあります。